

従業員向け

事業所における自己評価結果

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	△（どちらでもない）：2 ・（どちらでもない）最近カームダウンスペースを使用した ・（はい）子供たちは自由に動いているように感じる ・（どちらでもない）食事用のテーブルが8人しか座れないので時間をズラすなどしている	空間の問題で食事テーブルはどうしても大きくできない為、ローテーションを組んで対応していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	5	・（いいえ）特に送迎が可能なスタッフが不足していると思う ・（いいえ）送迎できるスタッフが足りない ・（はい）職員数は適切だが其々スキルの違いがあり明確に答えることができない ・（いいえ）送迎のスタッフが足りないと感じる日がある	周辺道路の状況や運転スキル等の問題もあり、送迎スタッフの確保は今後の課題となっており、人材確保に努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	△（どちらでもない）：1 ・（はい）手話ができるスタッフが多いので情報伝達がスムーズ ・（どちらでもない）イスがこども用でないの、一人で降ってられない子もいる ・（いいえ）光で知らせるもの（インターホン、警報）などがある とよい	インターホン以外に光で知らせるものが不足しております。今後、どのようなものが適切か検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	△（どちらでもない）：1 ・（どちらでもない）もう少し広い空間が欲しい	配置換え等行って、自由な空間を整備していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	・（はい）管理は大変だと思うが、環境は整っていると感じる	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	△（分からない）：2 △（どちらでもない）：2	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	△（分からない）：4 △（どちらでもない）：1	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・（はい）ミーティングで共通理解している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	△（分からない）：3 △（どちらでもない）：1	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0		
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	△（分からない）：2 △（どちらでもない）：1	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1	△（分からない）：3 △（どちらでもない）：1	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	△（分からない）：3 △（どちらでもない）：1 ・（いいえ）子どもの情報について知らないことが多い	連絡帳アプリ(支援計画)の活用がまだまだ浸透していないように感じます。アプリでは日々アップデートを行って職員全員が周知していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	2	△（分からない）：3 △（どちらでもない）：1	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	△（分からない）：2 △（どちらでもない）：1 ・（いいえ）主観	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	△（分からない）：3 △（どちらでもない）：1	

は 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	2	△（どちらでもない）：1	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	2	△（分からない）：2 △（どちらでもない）：1	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・（はい）毎日の議事録を当日のスタッフだけでなく全スタッフがしっかりと見て把握できているとよい	全スタッフに周知していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	5	△（どちらでもない）：2 ・（いいえ）支援後のミーティングもあると尚よい	支援後は送迎後の時間となるため、夜間の時間となってしまう為、業務日報を活用して行く方向で検討します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	△（分からない）：3 △（どちらでもない）：1	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	2	3	△（分からない）：3 △（どちらでもない）：1	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	・（はい）子供たちがとりくみたいことを優先して行えるよう関わっている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	△（分からない）：2	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	△（分からない）：3 △（どちらでもない）：1	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1	・（いいえ）行事予定、授業予定は直接学校からもらえるようにするとスムーズになると思う	学校との連携も含め今後検討していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	△（分からない）：3	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	△（分からない）：3 △（どちらでもない）：1	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	△（分からない）：3 △（どちらでもない）：1 ・（はい）他の放デイからの見学はある	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	△（分からない）：2 △（どちらでもない）：1 ・（はい）公園に行って交流することがある	安全面に配慮し毎回外出ができないところもありますが、社会との交流を意識した支援を心がけてまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	△（分からない）：3 △（どちらでもない）：1	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	△（分からない）：2 ・（はい）ミーティングや送迎車の中で意見交換している ・（はい）保護者へ連絡帳アプリ入力をもっと促してほしい	アプリへの入力が浸透しきれていない部分があり、根気良く浸透させて行く必要がございます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	△（分からない）：2 △（どちらでもない）：1	

保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	△（分からない）：2 △（どちらでもない）：1	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	△（分からない）：4 △（どちらでもない）：1	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	△（分からない）：4 △（どちらでもない）：1	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	△（分からない）：2 △（どちらでもない）：1	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	5	△（分からない）：1 △（どちらでもない）：1	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	△（分からない）：1 △（どちらでもない）：1 ・（わからない）ふくろう通信を保護者にどのように渡しているかわからない ・（いいえ）HP、SNSはもっと活用できたらと思う	ふくろう新聞はホームページに毎号掲載しているほか、紙でご希望の方へは郵送や手渡しにて配布を行っております。ご希望でお手元に届かない等ございましたら申し出をお願いいたします。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	△（どちらでもない）：1	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
非 常 時 等 の 対 応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	△（分からない）：2 △（どちらでもない）：1	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	4	△（分からない）：2 ・（いいえ）避難訓練をもっと実施した方がよい	避難訓練を実施した日に出動されておらず、伝達がうまくできていない事があるようです。日報等の確認の徹底を行う必要があります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	4		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	△（どちらでもない）：1 ・（はい）支援者全員が知っているかどうかわからない	児童の状況把握については命に係わる事ですので周知徹底いたします。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	△（分からない）：2 △（どちらでもない）：1 ・（いいえ）支援者全員が知っているかどうかわからない	児童の状況把握については命に係わる事ですので周知徹底いたします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	△（分からない）：2 △（どちらでもない）：1	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	△（分からない）：3 △（どちらでもない）：2	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	△（どちらでもない）：1	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	△（どちらでもない）：1	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	△（分からない）：2 △（どちらでもない）：2	身体拘束適正化委員会の内容等の周知が足りないようです。情報伝達を徹底していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 2026年7月30日

利用児童数 6

回収数 6

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4			2	・引越してからは見学していないためわからない	引越した後、個々への対応はしておりますが、ご都合で来られていないご家族様がいらっしゃる申し訳ございません。今後、申し出など早急に対応いたします。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5			1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4			2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	4			2		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	1		1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4			2		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5			1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4			2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5		1			
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2		1	3		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4			2		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1		2	3	保護者向け研修会は事業所では行っていない	事業所職員がペアレントトレーニング研修は実施しているものの、今後は保護者様とともに参加できるプログラムや研修を行っていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	5	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	2	2			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	1		1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		2	3	保護者の交流は個々ではあるが事業所では行っていないかも知れない	事業所にて保護者様同士の交流会はまだ開催できておりません。今後検討させていただきます。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1		1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5		1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5		1			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			4		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	6					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6				とても楽しみにしている	
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	2				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふくろうキッズ蒼田			
○保護者評価実施期間	2026年1月1日 ～ 2026年7月25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○従業者評価実施期間	2026年1月1日 ～ 2026年7月25日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年7月30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	聴覚障害のあるご利用者にとって、コミュニケーション方法が多様な事。	コミュニケーションツールとして、手話だけでなく、指文字、キードスピーチ、筆談や視覚的サポートなど個々に合わせた方法で支援や学習を行っている。	「手話が使える」とは曖昧な表現で、「英語が話せる」と同様にスキルの差があったり、実際の資格や検定取得など、目に見えないものがある為、個々の職員のスキルの習得度や確認の為に検定取得に向けた取り組みを法人全体で行っていく。
2	社会や成長を見据えた支援	聴覚障害があっても学校や就職が困難にならないよう情報収集に力を入れている。また、健聴者と多く関わり、伝わる、伝わらないを体得しながら社会の一員としてのスキルを身につけながら成長できる支援を行っています。	将来的な自立に向けた社会スキルの訓練の実施。実践的な社会との関わりを積極的に行っていく。また、個々のスキルの評価とそれに応じた支援の徹底
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	アットホームな雰囲気ですぐに過ぎており、避難訓練(非常災害時)の緊迫した場面での伝達・行動が弱い	多くの情報伝達とともに、空気を読む・雰囲気を感じ取る。など、聞こえないながらも周りの状況を把握できるようになる事は、とても難しいことと捉えている。	視覚的な情報伝達だけでなく、聴覚障害者に配慮した環境整備が必要。 災害時の安全確保ができるよう、ツールを増やしたり、訓練の想定度合いを上げるなど雰囲気づくりも強化していく。
2	保護者との連携・相談	聴覚障害児への育児・教育などに関する悩みや情報共有しやすい環境づくり	連絡帳アプリの活用や個別での対応の機会を増やすなど相談しやすい体制や支援の幅を広げる必要がある。
3			